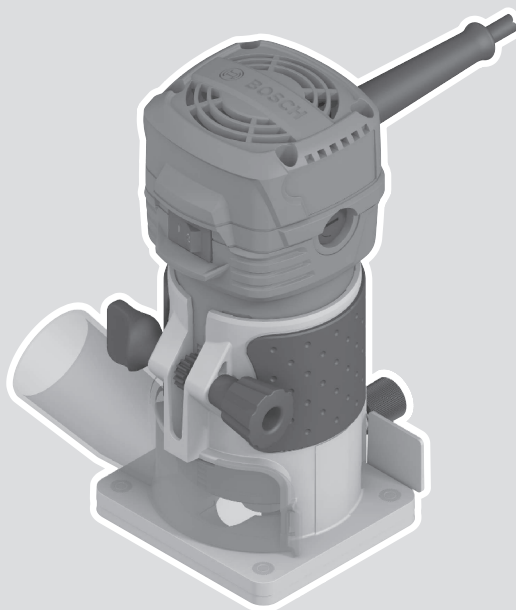




GLF 55-6



取扱説明書

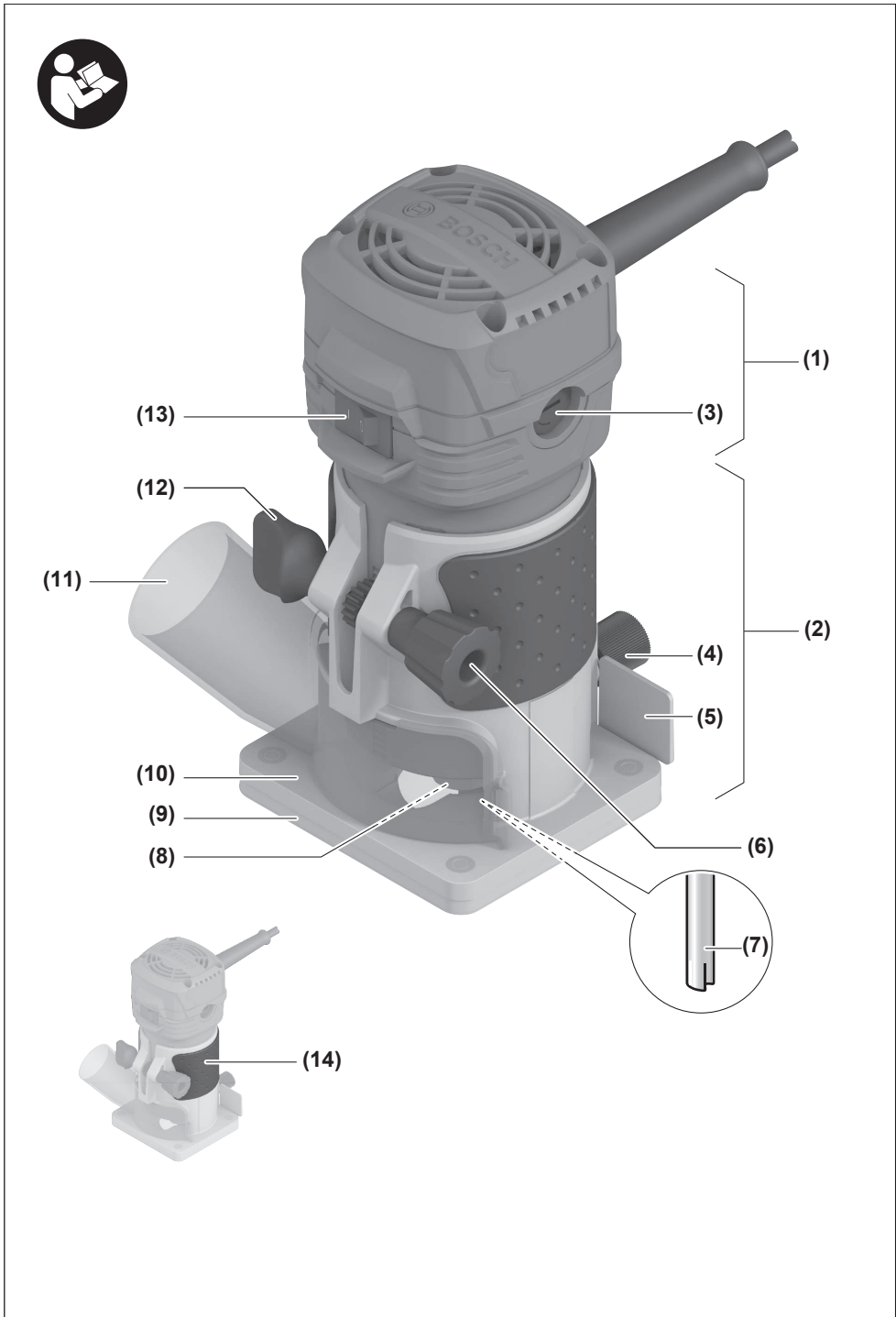
このたびは、弊社トリマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

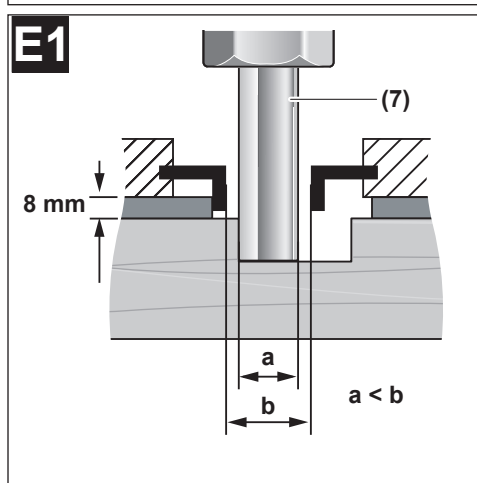
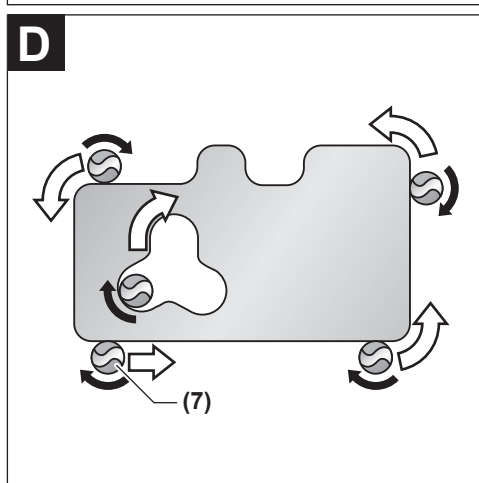
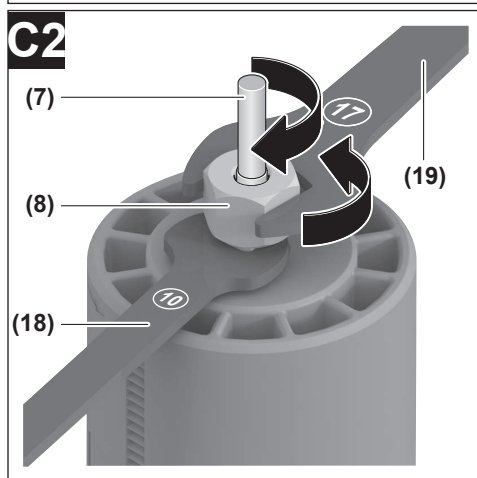
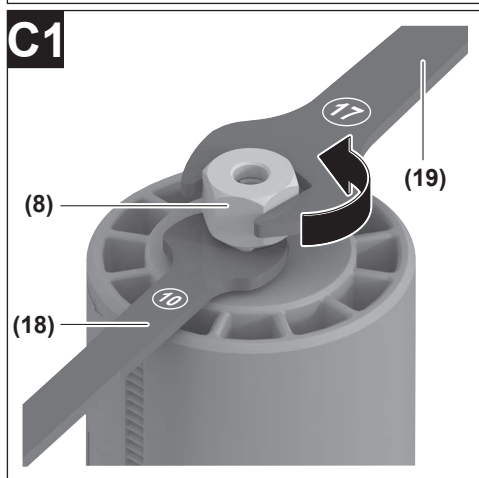
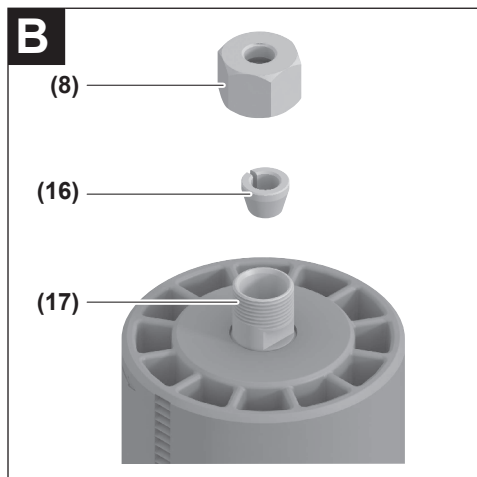
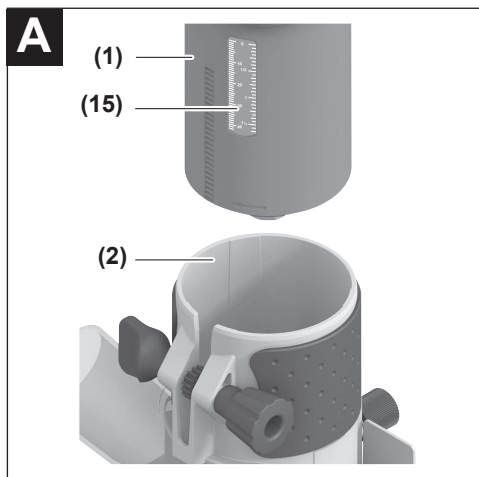
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

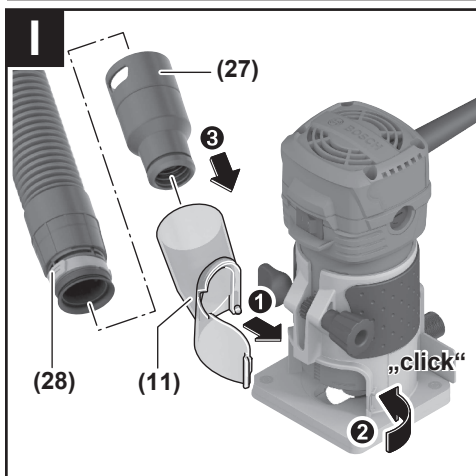
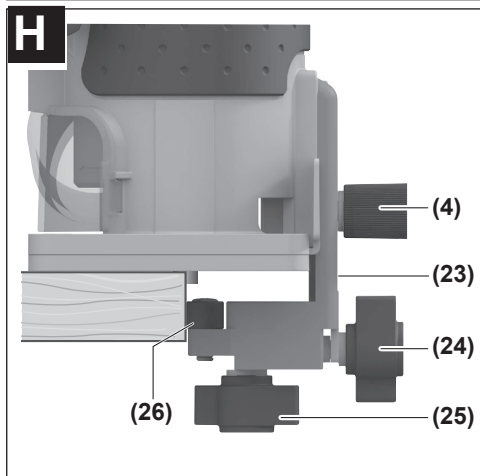
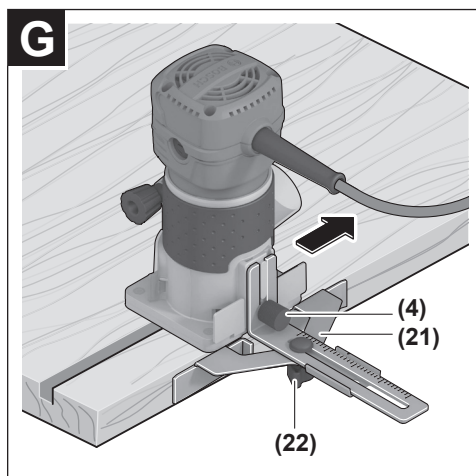
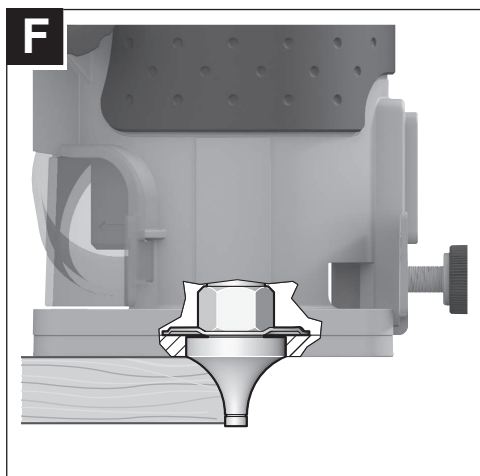
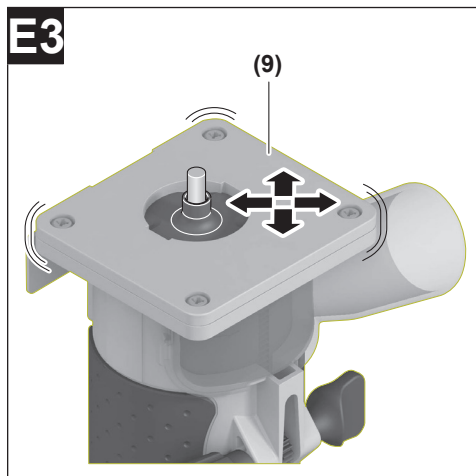
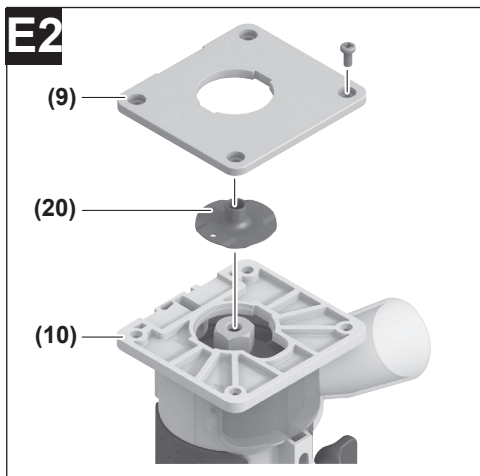


目次

用途	6
記号について	6
警告表示の区分	6
安全規則.....	6
一般安全規則.....	6
安全上のご注意.....	9
コード式電動工具全般についての注意事項	9
トリマーについての注意事項	10
本製品について	11
各部の名称	11
標準付属品	12
仕様	12
使い方	12
作業前の準備をする	12
切削する	14
吸じんシステムと接続する.....	16
お手入れと保管	16
クリーニング	16
保管	17
廃棄について	17
困ったときは.....	18
故障かな?と思ったら	18
修理を依頼するときは	19
保証サービスについて	19







用途









- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の彫刻
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の面取り
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の溝切り

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。

記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)
～	交流
	クラスII電動工具
	電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般安全規則

△警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火

させる恐れがある火花を発生する場合があります。

- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。

改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。

- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。

身体が接触すると、感電する危険が増大します。

屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。

- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。

◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。

◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。

お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。

- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。

◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておく、人的傷害の原因になります。

- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。

- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの

装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。

3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り外してください。このような予防的 안전手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。

4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。

◆ 鍵のかかる所に保管してください。

5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼く

ださい。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。

7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。

電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。

◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。

◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。

◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

f) その他

1) この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。

◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

2) 電動工具および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号につ

いて]を参照してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 警告

- 感電に注意してください。
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
 - 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
 - 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。
そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- <異常・故障例>
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。など
- 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で

使用してください。

- ◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。
- やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。
- ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
- つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
- 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
- アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
- 作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に電動工具の後方に離してご使用ください。
- ◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因に

なります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- ◆アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方のみ許されています。
 - －できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - －作業場所の換気に注意してください。
 - －DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
- ◆爆発の恐れがあります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
- ◆アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
- ◆電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

△注意

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ◆確実でない和外れたりし、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
- ◆材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

トリマーについての注意事項

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、トリマーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

△警告

- 電動工具の最高回転数以上の回転数に対応しているルータービットを使用してください。
- ◆ルータービットが最高回転数を超えると回転中に破損し、けがの原因になります。
- ルータービットのサイズに合ったコレットを使用してください。
- ◆サイズが合っていないとバランスが取れず、過度に振動して電動工具をコントロールできなくなる恐れがあります。
- ルータービットは手入れをし、鋭利さを保ってください。
- ◆刃先が鋭利ならストレスなく、電動工具がコントロールできます。
- 切れ味の鈍くなったルータービットや損傷したルータービットを使用しないでください。
- ◆ルータービットの切れ味が鈍くなると電動工具を強く押すことになり、ビットを破損させる原因になります。
- ◆損傷したビットを使用していると、ポキッと折れる恐れがあります。

- クランプや万力などで、材料を安定した台に固定・保持してください。材料を手で持ったり、身体で支えたりすると安定しないため、電動工具がコントロールしにくくなります。
- ◆ 材料が確実に固定されていないと、けがの原因になります。
- 木を彫る場合は、加工部に金属製の物体や釘、ネジなどの異物がないことを確認してください。
- ◆ ルータービットが異物に当たると、刃先が欠けたり、反発によりコントロールできなくなる恐れがあります。
- 金属製の材料や釘、ネジを切断しないでください。
- ◆ 切断するとルータービットが破損し、けがの原因になります。
- 必ず電動工具を動作させてから、材料に当ててください。
- ◆ 「メインスイッチ」を“入”にしてから、材料に当てないと、ルータービットが材料に挟まれるなど、キックバックが発生する恐れがあります。
- 切削作業は、必ずルータービットの回転方向とは逆の方向に電動工具を移動させてください。
- ◆ ルータービットの回転方向と同じ方向に電動工具を移動させると、動きが乱れ、コントロールできなくなる恐れがあります。
- 作業中は、電動工具を確実に保持してください。
- ◆ 確実に保持していないと振り回されたりし、けがの原因になります。
- 作業中は、ルータービットや切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。また、材料の下に手を入れないでください。
- ◆ けがの原因になります。
- 「メインスイッチ」を“入”にするときは、電動工具の回転部が身体に接触していないことを確認してください。
- ◆ 接触したままスイッチを入れると、けがの原因になります。
- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ◆ けがの原因になります。
- 電動工具を無理に強く押しつけて使用しないでください。
- ◆ 過度に荷重をかけると研削能力が低下するうえに、加工面が焼き付いたり、仕上げがきたなくなったりします。また、モーターの故障やルータービット破損の原因にもなります。
- 使用直後のルータービットやコレットに触れないでください。
- ◆ 使用直後のルータービットやコレットは高温になるため、やけどの恐れがあります。
- 「メインスイッチ」を“入”にしたまま、電動工具を持ち運ばないでください。
- ◆ 回転しているルータービットが思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- ルータービットの動きが完全に停止するまでは、電動工具を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ ルータービットが回転していると、表面に引っ掛かり、電動工具が引っ張られることがあります。
- 作業後のルータービットは高温になっていますので、直接手で触れないでください。
- ◆ 触れると、やけどの原因になります。

△注意

- アクセサリー交換後や各種調整後は、各部の固定ネジ(コレットナット)など、調整部がしっかり締め付けられていることを確認してください。
- ◆ 調整部が緩んでいると、電動工具が予期せぬ動きをしてコントロールができなくなります。

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)モーターユニット
- (2)ベースカバー
- (3)ブラシカバー
- (4)ガイド固定ネジ
- (5)切り粉ガード
- (6)切削深さ調整ネジ

- (7)ルータービット(市販品)
- (8)コレットナット
- (9)ガイドプレート
- (10)ベースプレート
- (11)吸じん用アダプター
- (12)ベースカバー固定ネジ
- (13)メインスイッチ
- (14)ハンドル(絶縁グリップ面)
- (15)切削深さ調整目盛
- (16)コレット
- (17)ツールホルダー
- (18)スパナ(10mm)
- (19)スパナ(17mm)
- (20)テンプレートガイド
- (21)ストレートガイド
- (22)ストレートガイド固定ネジ
- (23)トリマーガイド
- (24)トリマーガイド位置固定ネジ
- (25)トリマーガイド位置調整ネジ
- (26)ローラー
- (27)吸じんアダプター(別売品)
- (28)吸じんホース(φ35mm)(別売品)

標準付属品

モデル名	GLF 55-6
型番	GLF 55-6
ベースカバー	1個
トリマーガイド	1個
ストレートガイド	1個
テンプレートガイド	1個
コレットナット(6mm)	1個
スパナ(10mm/17mm)	各1個
吸じん用アダプター	1個

仕様

モデル名	GLF 55-6
型番	GLF 55-6
電源	A.C.100V、50-60Hz
消費電力(入力)	550W
無負荷回転数	33,000min ⁻¹ (回転/分)
ツールホルダー	6mm
質量*1	1.4kg
感電保護クラス	回/Ⅱ
原産国	中国

*1 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

使い方

作業前の準備をする

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか?
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか?
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか?

ルータービット(市販品)を選ぶ

⚠警告

- ◆ ルータービット(7)は、本体の最高回転数以上の回転数に対応しているものを選んでください。最高回転数以上でないと、折れて飛散する恐れがあります。

工程や用途に合わせてルータービット(7)を選択してください。

ビットの形状によって切断面が異なります。コレット径(6mmφ)に合ったシャンク径のルータービット(7)を選択してください。

- ☞ ハイスピード鋼(HSS)製ルータービットは、軟らかい木材やプラスチックなどの軟らかい材料に適しています。
- ☞ 超硬チップ付きルータービット(HM)は、硬い木材やアルミニウムなどの硬い材料に適しています。
- ☞ 使用可能なルータービット(7)については、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

ルータービットを取り付ける・取り外す

(イラストC1、C2参照)

△注意

- ◆ ルータービット(7)の取り付け・取り外し作業をするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
- ◆ 作業直後はルータービット(7)が高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 径の大きいルータービット(7)を径の小さいコレットナット(8)に無理に挿入しないでください。ルータービット(7)の軸径がコレットナット(8)のサイズに合っていない場合は、コレットナット(8)を交換してください。(次項「コレットを交換する」参照)

取り付け

1. ベースカバー固定ネジ(12)を回して緩めます。
2. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から引き抜きます。(イラストA参照)
3. スパナ(18)でツールホルダー(17)を保持します。
4. スパナ(19)でコレットナット(8)を反時計回りに回して緩めます。
5. ルータービット(7)をコレットナット(8)に挿入します。
 - ☞ 必要に応じて、取り付け前にルータービット(7)やコレットナット(8)に付着したゴミを柔らかいブラシを使用するか、圧縮空気を吹き付けて掃除します。
 - ☞ 損傷がなく、清潔なルータービット(7)のみを取り付けてください。
6. スパナ(18)でツールホルダー(17)を保持したまま、スパナ(19)でコレットナット(8)を時計方向に回して、締め付けます。
 - ☞ ルータービット(7)が挿入されていないときは、コレットナット(8)を締め付けないでください。
7. スパナ(18)(19)を外します。
8. ルータービット(7)を引いて、確実に取り付けられているか確認します。
 - ☞ 抜けたり、緩んだりしていなければ取り付け完了です。
- ☞ 必要以上にコレットナット(8)をきつく締めないように注意してください。
9. ベースカバー固定ネジ(12)を緩めた状態で、モーターユニット(1)をベースカバー(2)

に差し込みます。

10. ベースカバー固定ネジ(12)を締めます。
11. モーターユニット(1)がしっかりベースカバー(2)に固定されているか確認します。

取り外し

1. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から外します。
 - ☞ 「取り付け」の項の手順1～2を参照してください。
2. スパナ(18)でツールホルダー(17)を保持しながら、スパナ(19)でコレットナット(8)を緩めます。
3. ルータービット(7)を引き抜きます。

コレットを交換する

(イラストB参照)

使用するルータービット(7)の軸径にコレット(16)のサイズ(6mm)が合っていない場合は、交換してください。

△警告

- ◆ ルータービット(7)のサイズに合ったコレットナット(8)を使用してください。サイズが合っていないとバランスが取れず、過度に振動して、本体をコントロールできなくなる恐れがあります。

△注意

- ◆ コレットナット(8)が損傷している場合は、すぐに交換してください。
 - ◆ 作業直後のルータービット(7)やコレットナット(8)は高温になります。冷めてから取り外してください。
 - ◆ コレット(16)を交換するときは、けがの発生を防ぐため手袋を着用してください。
1. ベースカバー固定ネジ(12)を回して緩めます。
 2. モーターユニット(1)をベースカバー(2)から引き抜きます。
 3. スパナ(18)でツールホルダー(17)を保持します。
 4. スパナ(19)でコレットナット(8)を反時計回りに回して緩めます。
 5. ルータービット(7)が取り付けられているときは、ルータービット(7)を取り外します。
 6. コレットナット(8)を取り外します。
 7. 必要に応じて、ツールホルダー(17)やコレットナット(8)に付着したゴミを、柔らかいブラシを使用するか、圧縮空気を吹き付け

て掃除します。

8. 使用するルータービット(7)の軸径に合ったコレットナット(8)をツールホルダー(17)に取り付けます。
 - ☞ 径の大きいルータービット(7)を径の小さいコレットナット(8)に無理に挿入しないでください。
 - ☞ コレットナット(8)が損傷しているときは、交換してください。
9. コレットナット(8)を手で時計回りに回して仮締めします。
ルータービット(7)が挿入されていない状態でコレットナット(8)を締め付けすぎないでください。コレットナット(8)が損傷する恐れがあります。
10. 必要に応じて、ルータービット(7)を取り付けます。
(13ページ「ルータービットを取り付ける・取り外す」)の取り付け手順5～8項参照)
11. ベースカバー固定ネジ(12)を緩めた状態で、モーターユニット(1)をベースカバー(2)に差し込みます。
12. ベースカバー固定ネジ(12)を締めます。
13. モーターユニット(1)がしっかりベースカバー(2)に固定されているか確認します。

切削深さを設定する

1. 本体を作業する材料の上に置きます。
2. ベースカバー固定ネジ(12)を緩めます。
3. 切削深さ調整ネジ(6)を回すか手動でモーターユニット(1)をゆっくり下げ、ルータービット(7)の先端を材料に当てます。
4. ベースカバー固定ネジ(12)を締めます。
5. 切削深さ調整目盛(15)を読みます。
6. 本体を材料から離します。
7. モーターユニット(1)を手で押さえながら、ベースカバー固定ネジ(12)を緩めます。
8. 手順5で読んだ目盛に切削したい深さを足した目盛までモーターユニット(1)を下げ、その位置を保持したままベースカバー固定ネジ(12)を締めます。
9. 試し切削して、深さを確認し、必要に応じて深さを修正します。

切削する

⚠警告

- ◆ 切削作業は、必ずルータービット(7)の回転方向とは逆の方向に本体を移動させてください。([7]切削を始めるの「作業のヒント」参照)
- ルータービット(7)の回転方向と同じ方向に本体を移動させると、動きが乱れ、コントロールできなくなる可能性があります。
- ◆ クランプや万力などを利用して、材料をしっかりと固定してください。
- ◆ 材料に金属製の物体や釘、ネジなどの異物がないことを確認してください。
- ◆ 切れ味の鈍くなったルータービット(7)や損傷したルータービット(7)は使用しないでください。

⚠注意

- ◆ 切削作業は、必ずベースカバー(2)を取り付けて行ってください。ベースカバー(2)を取り付けずに切削すると、動きが乱れ、事故の原因になります。
- ◆ ベースカバー(2)から突き出したルータービット(7)で、材料やテンプレートを傷つけないように注意してください。

[1] 材料を確実に固定する

- ☞ 材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

[2] コレットナット(8)を点検する

コレットナット(8)が確実に締め付けられているか点検してください。

[3] ルータービット(7)を点検する

ルータービット(7)が欠けていたり、摩耗したりしていないか点検してください。

[4] 切削深さを確認する

切削深さが正しく設定されているか確認してください。

[5] ベースカバー(2)を確実に固定する

ベースカバー固定ネジ(12)が確実に締まっているか確認してください。

[6] 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

- ◆ メインスイッチ(13)が“切”になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

[7] 切削を始める

△注意

- ◆ 必ず、メインスイッチ(13)を“入”にしてから、ルータービット(7)を材料に当ててください。“入”にしてから材料に当てないと、ルータービット(7)が材料にかみ込んで、キックバックを起こす恐れがあります。

メインスイッチ(13)を“**I**(入)”にし、けがき線または材料に沿ってゆっくりと一定の速度で切削作業を行います。

スイッチの“入”“切”

入:メインスイッチ(13)を“**I**(入)”にします。

切:メインスイッチ(13)を“**O**(切)”にします。

作業のヒント

本体は、奥から手前に移動するときは右側に、手前から奥に向かって移動するときは左側に寄る性質があります。

イラストDのように本体を動かすと本体と材料が離れにくく、より正確に作業が行えます。

[8] 切削を終える

切削作業が終了したら、メインスイッチ(13)を“**O**(切)”にします。

- ☞ ルータービット(7)の回転が完全に止まるまで、本体を置かないでください。ルータービット(7)が回転したまま置くと、けがをする恐れがあります。

テンプレートガイドを使用して切削する

テンプレート(型板)を使用し、同じ加工を繰り返し行うときに有効です。

- ☞ テンプレート(型板)は、8mm以上の厚さのものを使用してください。(イラストE1参照)
 - ☞ ルータービット(7)は、テンプレートガイドの穴より小さい径のものを選んでください。
1. ガイドプレート(9)からネジ4本を外し、ベースプレート(10)からガイドプレート(9)を取り外します。
 2. 取り外したガイドプレート(9)にテンプレートガイド(20)をはめ込みます。(イラストE2参照)
 3. ネジ4本でガイドプレート(9)をベースプレート(10)に取り付けます。
ネジ4本は締め付けず仮締めにして、ガイドプレート(9)が動く状態にしてください。

4. テンプレートガイド(20)の中心にルータービット(7)の中心を合わせます。
- ☞ ルータービット(7)の中心と、テンプレートガイド(20)の端の間の間隔をどこでも均一にするには、必要に応じて、ガイドプレート(9)とテンプレートガイド(20)の中心を合わせる必要があります。
テンプレートガイド(20)の開口部の中心に、ルータービット(7)の中心がくるように、ガイドプレート(9)の位置を動かします。(イラストE3参照)
5. ガイドプレート(9)の位置を保持し、ネジ4本を締め付けて固定します。
6. 材料の上にテンプレート(型板)を置き、その上に本体をセットします。
7. [切削する](14ページ参照)の手順に従って切削作業を行います。
本体は、テンプレートに沿って材料に軽く押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。

作業のヒント

テンプレートガイド(20)を使用した場合、その構造上、実際にでき上がるものはテンプレート(型板)よりも少し小さくなります。

テンプレートガイド(20)とルータービット(7)の間隔の分、テンプレート(型板)を大きく作成すると、お望みの大きさに仕上がります。

ストレートガイドを使用して切削する

(イラストG参照)

直線加工が正確に行えます。

1. ガイド固定ネジ(4)を緩めます。
2. ストレートガイド(21)をガイド固定ネジ(4)の下から差し込みます。
3. ストレートガイド(21)の高さを調整し、ガイド固定ネジ(4)を締めます。
4. 切削材料の側面にストレートガイド(21)を当てます。
5. ストレートガイド固定ネジ(22)を緩めます。
6. ルータービット(7)の位置が切削位置に合うようにストレートガイド(21)を調整し、ストレートガイド固定ネジ(22)を締めます。
7. [切削する](14ページ参照)の手順に従って切削作業を行います。
本体は、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。

トリマーガイドを使用して切削する (イラストH参照)

面取り加工などが正確に行えます。

1. ガイド固定ネジ(4)を緩めます。
2. トリマーガイド(23)をガイド固定ネジ(4)の下から差し込みます。
3. ローラー(26)の高さを調整し、ガイド固定ネジ(4)を締めます。
☞ 使用しているルータービット(7)や切削する材料の厚さに応じてローラー(26)の高さを調整してください。
4. トリマーガイド位置固定ネジ(24)を緩めます。
5. ルータービット(7)が切削位置にくるように、トリマーガイド位置調整ネジ(25)を回してローラー(26)の位置を調整し、トリマーガイド位置固定ネジ(24)を締めます。
☞ ローラー(26)の位置を調整することで面取り量を調整できます。
6. 「切削する」(14ページ参照)の手順に従って切削作業を行います。
本体は、切削材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら一定の速度で動かしてください。

コロ付きルータービット(市販品)を使用して切削する

(イラストF参照)

ストレートガイド(21)やトリマーガイド(23)を使用せずに面取り切削が行えます。切削作業は、本体を垂直に保ち、ルータービットのコロを材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながら本体を一定の速度で動かしてください。(動かす方向については、15ページ「7」切削を始めるの「作業のヒント」を参照してください)

- ☞ 本体を垂直に保ってください。
- ☞ 圧力をかけ過ぎないでください。
過度の圧力を加えると、材料の端が損傷する恐れがあります。

吸じんシステムと接続する

(イラストI参照)

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続することで、吸じんしながら作業ができます。

各種ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続する場合は、ボッ

シュ電動工具総合カタログの「クリーナー・その他」の「吸じんシステム一覧」のページを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)には、当機種との接続に適合するものと、適合しないものがあります。

また、アダプター(別売品)などが必要な場合があります。

(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています)

△警告

- ◆ 材料に適した集じん機を接続してください。
- ◆ 乾燥した切り粉や人体に有害な材料の切り粉、発がん性物質の切り粉を吸じんするときは、特別な吸じんシステムを接続してください。

1. 本体に吸じん用アダプター(11)を取り付けます。
矢印①の方向に差し込み、矢印②の方向に“カチツ”と音がするまで、押し込んでください。
☞ 取り外すときは、吸じん用アダプター(11)の側面をつかみ、前方に引き抜きます。
2. 取り付けした吸じん用アダプター(11)に、吸じんアダプター(27)(別売品)を取り付けます。
3. 吸じんアダプター(27)に吸じんホース(φ35mm)(28)(別売品)を取り付けます。
4. 吸じんホース(28)とボッシュマルチクリーナー・マルチ集じん機を接続します。

お手入れと保管

△警告

- ◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

クリーニング

通風口やコレットなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保管

使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

廃棄について

本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症状	原因	対処
作動しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	内部パーツの不良	修理を依頼する
	電源ケーブルの断線	修理を依頼する
切削に時間がかかる (切削しない)	ルータービット(7)が摩耗している	ルータービット(7)を交換する
メインスイッチ(13)を“○(切)”にしても、作動したまま止まらない	内部パーツの不良	修理を依頼する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30
※携帯電話からお掛けのお客様は、
TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター
〒355-0813
埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030
FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本
〒811-0104
福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486
FAX 092-963-3407

保証サービスについて

プロ用電動工具・メジャーリング ツール保証サービス『PRO360』の ご案内

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をいただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>



ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 8Y5 (2023.12)



1 609 92A 8Y5

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。